

Research Models Catalog

国内生産実験動物



MISSION

We discover precise genomic solutions for disease and empower the global biomedical community in our shared quest to improve human health.

疾患に対する精密なゲノムソリューションを探索し、
世界中の生物医学コミュニティに活力を与えることです。
その根底にあるのは「人々の健康を改善したい」という
私たち皆の探求心です。



Research Models

リサーチモデル事業

**ジャクソン・ラボラトリー・ジャパンは
遺伝学的・微生物学的に統御された高品質な実験動物を
安定的に供給しています**

- 国内生産実験動物(マウス / ラット)
- 手術動物(カニュレーション動物の作製 / 外科的処置によるモデル動物の作製、マウス / ラット)
- 生体試料(血液 / 臓器 / 各種生体試料等)、ブタ皮膚(Yucatan Micro Pig Skin set)

その他以下のサービスも提供しています

- 輸入実験動物(マウス / ラット等)
- 微生物モニタリングサービス
- 遺伝子改変モデル作製 / 受託繁殖サービス
- 受託試験サービス(神経変性疾患、がん、自己免疫疾患等)

Contact JAX in Japan

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社

The Jackson Laboratory Japan, Inc.

- ホームページ
www.jax.or.jp



- AnyTime(国内生産実験動物 / 生体試料)問い合わせサイト
anytime.jax.or.jp



- 一般的なお問い合わせ
ask@jax.or.jp



- サイエнтиフィックサポート
micetech@jax.or.jp



オーダープロセッシング センター(受注窓口)

TEL : 045-474-9350
FAX : 045-474-9351
〒222-0033
神奈川県横浜市港北区新横浜 3-17-6
イノテックビル 11 階

リージョンセールス部 東日本グループ

TEL : 045-474-9340
FAX : 045-474-9341
〒222-0033
神奈川県横浜市港北区新横浜 3-17-6
イノテックビル 11 階

リージョンセールス部 西日本グループ

TEL : 072-686-6651
FAX : 072-686-6652
〒569-0803
大阪府高槻市高槻町 5-25
北本ビル 1 階 C 号室

ご発注にあたって

- P.05 国内生産実験動物 発注方法
特別規格、追加料金
動物お受け取り時の取り扱いについてお願い

遺伝学的／微生物学的統御について

- P.06 遺伝学的統御(遺伝管理システム)
P.07 微生物学的統御(微生物モニタリング)
マウス・ラット名称について

国内生産実験動物

Outbred マウス

- P.08 【ICR】 Crl: CD1 (ICR)

Inbred (近交系) マウス

- P.08 【B6 Albino】 B6N-*Tyr^{c-Brd}* /BrdCrCrl
【BALB/cByJ】 BALB/cByJ
P.09 【BALB/cJ】 BALB/cJ
【C3H】 C3H/HeNCrl
【B6J】 C57BL/6J
P.10 【B6NJ】 C57BL/6NJ
【CBA】 CBA/J
【DBA/1】 DBA/1JNCrlj
P.11 【DBA/2】 DBA/2NCrl
【NC】 NC/NgaTndCrlj
【SJL】 SJL/J

Preconditioning Models マウス

- P.12 【B6J Aged】 C57BL/6J-Aged
【B6J DIO】 C57BL/6J-DIO
【B6J NASH】 C57BL/6J-NASH

F1 Hybrid マウス

- P.13 【B6C3F1】 B6C3F1/Crl
【B6D2F1】 B6D2F1/Crl

Disease Models (病態モデル) マウス

- P.14 【ob】 B6.Cg-*Lep^{ob}* /J
【db】 BKS.Cg-*Dock7^{m+/+} Lepr^{db}* /J



Immunodeficient Models (免疫不全モデル) マウス

- P.15 【BALB/c-nu】 CAnN.Cg-*Foxn1^{nu}* /CrlCrlj
【ICR-nu】 Crlj:CD1-*Foxn1^{nu}*
【C.B-17 SCID】 CB17/Icr-*Prkdc^{scid}* /CrlCrlj
P.16 【SHO】 Crlj:SHO-*Prkdc^{scid} Hr^{hr}*
【SCID Beige】 CB17.Cg-*Prkdc^{scid} Lyst^{bg-J}* /CrlCrlj
【NOD SCID】 NOD.Cg-*Prkdc^{scid}* /J

NSG / NSG variants マウス

- P.17 【NSG】 NOD.Cg-*Prkdc^{scid} Il2rg^{tm1Wjl}* /SzJ
【NSG-MHC I/II DKO】 NOD.Cg-*Prkdc^{scid} H2-K1^{b-tm1Bpe} H2-Ab1^{g7-em1Mvw} H2-D1^{b-tm1Bpe} Il2rg^{tm1Wjl}* /SzJ

Immunodeficient Models (免疫不全モデル) マウス一覧

Outbred ラット

- P.18 【CD (SD)】 Crl:CD (SD)
【Wistar】 Crlj:WI

Inbred (近交系) ラット

- P.19 【BN】 BN/CrlCrlj
【F344】 F344/DuCrCrlj
【LEW】 LEW/CrlCrlj
P.20 【WKY】 WKY/NCrlCrlj

Disease Models (病態モデル) ラット

- P.20 【PCK】 PCK/CrljCrl-*Pkhd1^{pck}* /CrlCrlj

その他商材

- P.21 手術動物(カニキュレーション動物の作製 / 外科的処置によるモデル動物の作製、マウス / ラット)
P.22 生体試料(血液 / 臓器 / 各種生体試料等)
ブタ皮膚 (Yucatan Micro Pig Skin set)

使用条件等

- P.23 系統別出荷体重基準表
P.26 製品／サービスのご利用にあたって
販売代理店

ご発注にあたって

国内生産実験動物 発注方法

- ① ご所属 ② ご発注者の名前と連絡先（TEL/FAX） ③ 動物の系統名 ④ 性別（♂♀） ⑤ 週齢 ⑥ 匹数
⑦ ご希望の納期 ⑧ その他指定事項（納品先等）を明確にご連絡ください。

特別規格、追加料金

退役動物 (リタイア)	繁殖に利用した動物で月齢不詳のものです。ファイティング等により傷がある場合がございます。 〔RETIRE〕
月齢指定退役動物 (月齢指定)	退役動物で、納品時の月齢を指定したものです。系統や性別により退役月齢が異なります。 ご希望の納品時月齢により、退役月齢からの飼育料を加算いたします。〔RETIRE, S〕
妊娠動物	交配日は確認されておらず、目視の腹部膨張により妊娠を確認した動物です。〔PREG〕
交配日指定妊娠 動物	同居翌日以降にプラグ（膣栓）を確認した動物です。プラグ確認日を妊娠 0 日としております。 プラグ確認 14 日未満の動物は外観からの妊娠判断が難しく、不妊の可能性がございますので、 試験使用匹数に余裕を持ってご発注いただくか、妊娠 14 日目以降の動物のご購入をお勧めいたします。〔T, PREG〕
哺育動物	出荷時 20 日齢未満の哺育動物です。哺育用親と共に出荷します。系統により、1 腹当たりの 匹数が異なります。14 日齢未満の動物は配送時の食殺のリスクが高まります。〔LACT〕
日齢指定	日齢指定（出生日が 6 日幅以内）の場合、以下の定額を加算いたします。対応可能系統は お問い合わせください。 ● マウス：週齢動物価格 + 200 円 (9 週齢以上は + 400 円) ● ラット：週齢動物価格 + 400 円 (9 週齢以上は + 800 円)
少数注文の 輸送箱費用	少数のご注文に該当する場合、「箱代」として別途 1,000 円 (消費税別) を申し受けます。 ● マウス：全週齢 9 匹以下 ● ラット：3 ～ 15 週齢 3 匹以下 適用除外規格：妊娠動物等の特殊動物、db、ob、NOD SCID、NSG、B6J DIO、B6J NASH、NSG-MHC I / II DKO
追加配送費	配送地域によっては、商品価格以外に別途配送費を申し受ける場合がございます。
航空便輸送費用	航空便で輸送する場合、航空輸送費として以下を申し受けます。 ● マウス：1,200 円 / 箱 (消費税別) ● ラット：2,000 円 / 箱 (消費税別)
特殊動物 (RETIRE、PREG、LACTなど)	個体識別用に耳パンチされた動物が含まれる場合がございます。

動物お受け取り時の取り扱いについてお願い

動物へのストレス軽減と温度環境のコントロールに努めてお届けしておりますが、動物の健康維持のためにできる限り速やかに空調室内のケージに収容の上、給水ならびに給餌をお願いいたします。

遺伝学的／微生物学的統御について

Genetic Management

遺伝学的統御（遺伝管理システム）

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパンは、遺伝的乖離を最小限に抑えた動物をお客様へ供給するために2つの特別な遺伝管理システムを導入しています。

各システムの詳細は、ホームページをご参照いただくか、弊社窓口 (ask@jax.or.jp) までお問い合わせください。

Genetic Stability Program (GSP)

ジャクソン研究所（米国）で保管され、定期的に復元される基礎コロニー（Foundation stocks）から定期的に親だねの供給を受けることで、ジャクソン研究所（米国）のコロニーとの遺伝的乖離を最小限に抑えています。



※ GSP 適用系統は、各系統の紹介ページにその旨が表記されています。
※ なお、全てのJAX®MiceはGSP適用外の系統も含めて定期的にジャクソン研究所（米国）より親だねの供給を受けております。



International Genetic Standardization Program (IGS プログラム)

Outbred では、チャールス・リバー社（米国）の基礎コロニー（Foundation コロニー）から各コロニーへの親だねの供給（Forward migration）と、各コロニーから Foundation コロニーへの里帰り（Backward migration）を行うことで、遺伝的にひとつの大きな Outbred コロニーを構築しています。



Inbred（近交系）では、定期的に Foundation コロニーから各コロニーへの親だねを供給することで、Foundation コロニーを頂点としたピラミッド型の Inbred コロニーを構築しています。

※ IGS Program 適用系統は、各系統の紹介ページにその旨が表記されています。

Health Profile

微生物学的統御（微生物モニタリング）

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパンのモニタリングセンターは、供給する動物の微生物モニタリングをチャールス・リバー社（米国）の検査手法 / 技術を移転し、行っています。

国内生産実験動物は全て SPF/VAF（Specific Pathogen Free / Virus Antibody Free）です。

モニタリングレポートは、ホームページをご参照いただくか、弊社窓口（ask@jax.or.jp）までお問い合わせください。

※ モニタリングレポートを毎月 メールでお届けすることも可能です。

マウス・ラット名称について

Inbred（近交系）マウス・ラット

Inbred（近交系）は、追跡できる単一のペア動物を由来としており、20 世代以上の兄妹交配によって作られます。

例

C57BL/6J

↑
系統名

↑
生産している
研究室（所）コード
ラボコード

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパンが生産する GSP 適用システムを含む JAX®Mice は、定期的にジャクソン研究所（米国）より親だねの供給を受けており、米国内で生産されている JAX®Mice と遺伝的に乖離をしていないことから、ラボコードに“J”を用います。

Outbred マウス・ラット

Outbred は、個体レベルの多様性を維持してヘテロ性を最大化することを目的として維持しています。

例

Crl : CD(SD)

↑
生産している
研究室（所）コード
ラボコード

↑
系統名

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパンが生産するチャールス・リバーグループの IGS プログラム適用システムは、定期的にチャールス・リバー社（米国）より親だねの供給を受けており、チャールス・リバーグループの動物と遺伝的に乖離をしていないことから、ラボコードに“Crl”を用います。

ラボコード

■ **Crl** — チャールス・リバーグループ

■ **Crlj** — 旧日本チャールス・リバー（現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）

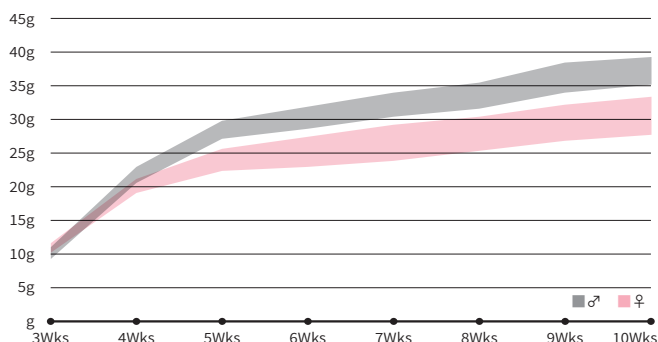
国内生産実験動物

Outbred マウス

Crl:CD1(ICR)

一般名：ICR

IGS 適用系統



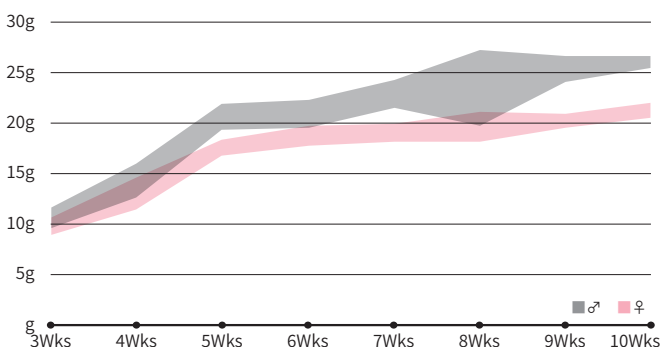
毛色	Albino	規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、T、PREG、LACT
由来	非 Inbred の Swiss mice を起源とし、1959 年にチャールス・リバー社（米国）に導入され、帝王切開で作出後、SPF 化された。さらに IGS プログラム化後、2012 年に日本チャールス・リバー（現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）に導入された。本系統は IGS プログラムにて維持されている。		

Inbred (近交系) マウス

B6N-*Tyr^{c-Brd}* /BrdCrCrl

一般名：B6 Albino

IGS 適用系統

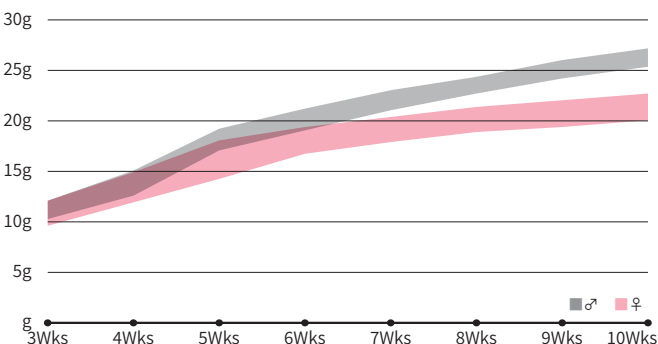


毛色	Albino	H2	b	規格	4 週齢～
由来	2000 年に Baylor 医科大学の Allan Bradley 博士から NCI に導入された。B6 アルビノ系統は C57BL/6 系統からの自然発症コアイソジェニックのアルビノで、本系統はチロシナーゼ遺伝子に変異をもつ。2009 年に NCI からチャールス・リバー社（米国）へ導入され、IGS プログラム化後 2013 年に日本チャールス・リバー（現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）に導入された。本系統は IGS プログラムにて維持されている。				

BALB/cByJ

一般名：BALB/cByJ

JAX® Mice | GSP適用系統 | Strain#:001026

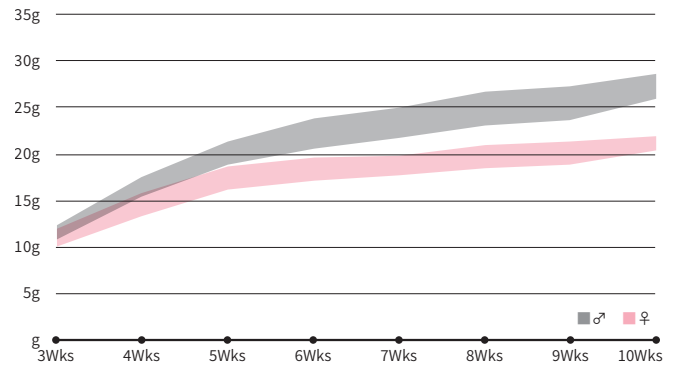


毛色	Albino	H2	d	規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、LACT
由来	当初 Cold Spring Harbor で MacDowell によって維持されていた BALB (Bagg's albino) が 1932 年に F26 で Snell によりジャクソン研究所に導入され、1937 年から 1939 年の間に Andervont, Scott, Green に分与されたものがそれぞれ BALB/cAn、BALB/cSc、BALB/cGn へと派生した。BALB/cAn 系統はさらに 1951 年 F72 で NIH に導入され、Bailey により F136 でジャクソン研究所へ再導入の後、BALB/cByJ へと派生した。本系統は "GSP" にて維持されており、ジャクソン研究所（米国）から 2024 年にジャクソン・ラボラトリー・ジャパンへ導入された。				

BALB/cJ

一般名：BALB/cJ

JAX®Mice | Stain#: 000651

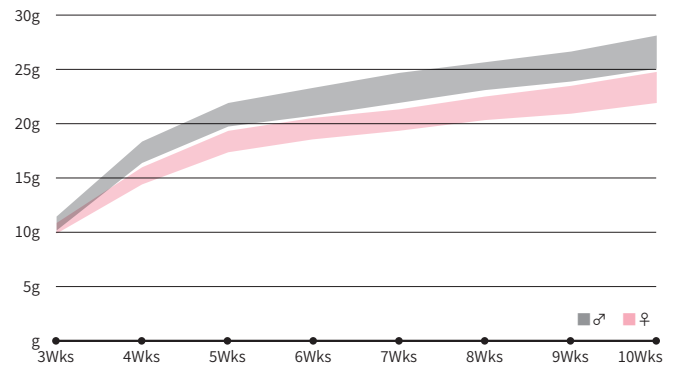


毛色	Albino	H2	d
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE,S、PREG、LACT		
由来	当初 Cold Spring Harbor で MacDowell によって維持されていた BALB (Bagg's albino) が 1932 年に F26 で Snell によりジャクソン研究所に導入され、1937 年から 1939 年の間に Andervont, Scott, Green に分与されたものがそれぞれ BALB/cAn、BALB/cSc、BALB/cGn へと派生した。この BALB/cSc が 1947 年に F41 でジャクソン研究所に再導入された後、BALB/cJ へと派生した。本系統はジャクソン研究所（米国）から 2023 年にジャクソン・ラボラトリー・ジャパンへ導入された。		

C3H/HeNCrl

一般名：C3H

IGS 適用系統

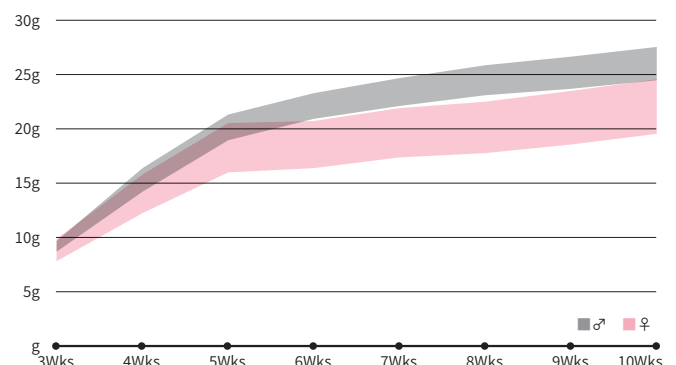


毛色	Agouti	H2	k
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、LACT		
由来	1920 年に Strong 氏により Bagg albino 雌と DBA 雄の交配から作出された。1930 年に Andervont に、その後 F35 で Heston へ導出され、1951 年に F57 で NIH へ導入された。1974 年に F102 でチャールス・リバー社（米国）に導入され、IGS プログラム化後、2012 年に日本チャールス・リバー（現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）に導入された。本系統は IGS プログラムにて維持されている。		

C57BL/6J

一般名：B6J

JAX®Mice | GSP 適用系統 | Strain#: 000664

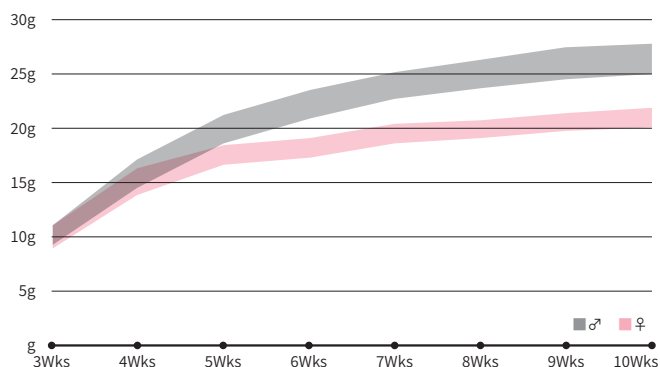


毛色	Black	H2	b
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、T, PREG、LACT		
由来	1921 年 C.C.Little が Miss Abby Lathrop 維持コロニーから見出し樹立した C57BL 系統のうち、ライン6に由来する系統が C57BL/6 として 1948 年にジャクソン研究所に導入された。以降ジャクソン研究所にて維持された系統が C57BL/6J であり、これは世界で最もよく使われている近交系マウスである。本系統は“GSP”にて維持されており、ジャクソン研究所（米国）から 2002 年に日本チャールス・リバー（現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）へ導入された。		

C57BL/6NJ

一般名：B6NJ

JAX®Mice | GSP 適用系統 | Strain#:005304

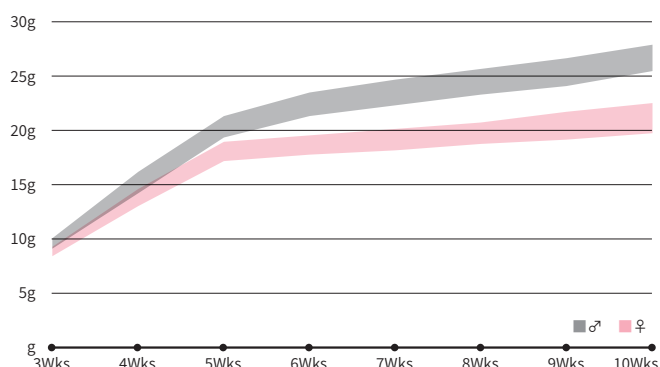


毛色	Black	H2	b
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE,S、PREG、TP、LACT		
由来	1921 年 C.C.Little が Miss Abby Lathrop 維持コロニーから見出し樹立した C57BL 系統のうち、ライン6に由来する系統が C57BL/6 として 1948 年にジャクソン研究所に導入された。以降ジャクソン研究所にて維持された系統が C57BL/6J であるのに対し、1951 年に F32 で NIH に導入された系統は C57BL/6N へと派生した。C57BL/6N のうち一部が 1984 年に F126 で凍結保存され、1994 年から 1997 年の間の復元・凍結を経て 2005 年にジャクソン研究所へ再導入されたものが C57BL/6NJ である。本系統は “GSP” にて維持されており、ジャクソン研究所（米国）から 2023 年にジャクソン・ラボラトリー・ジャパンへ導入された。		

CBA/J

一般名：CBA

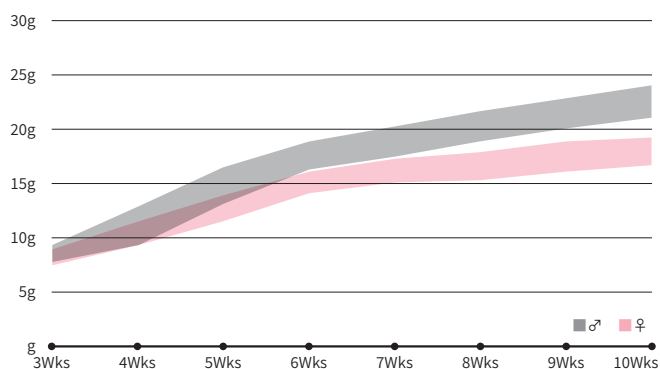
JAX®Mice | GSP 適用系統 | Strain#:000656



毛色	Agouti	H2	k
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、LACT		
由来	1920 年 Strong が BALB/c の前身である Bagg's albino メスマウスと DBA の前身となるオスマウスとの交配により CBA マウスが作出された。その後 1947 年 Andervont に分与されたマウスが 1948 年ジャクソン研究所に導入され、以降ジャクソン研究所で維持された系統が CBA/J である。本系統は “GSP” にて維持されており、ジャクソン研究所（米国）から 2010 年に日本チャールス・リバー（現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）へ導入された。		

DBA/1JNCrlj

一般名：DBA/1

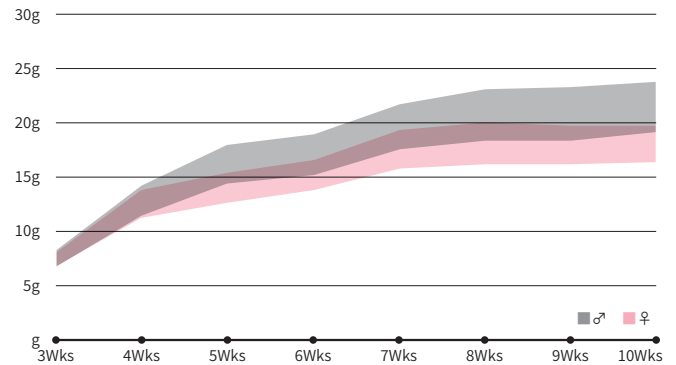


毛色	Dilute brown	H2	q
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、LACT		
由来	1965 年にジャクソン研究所（米国）から Hoffman へ導入され、1967 年に NIH へ導入された。1988 年にチャールス・リバー社（米国）へ導入し SPF 化後、同年 F56 で日本チャールス・リバー（現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）に導入された。		

DBA/2NCrl

一般名：DBA/2

IGS 適用系統

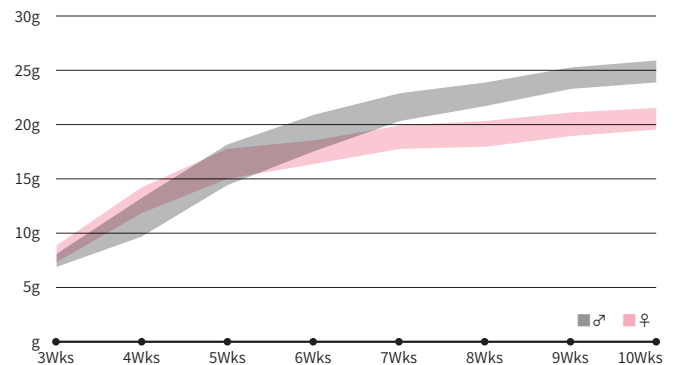


毛色	Dilute brown	H2	d
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、LACT		
由来	1938 年にジャクソン研究所（米国）から Mider へ導入され、1951 年に F34 で NIH へ導入された。その後、Kansas Univ. を経て、1963 年に F78 で Texas Inbred へ導入された。1966 年に F84 でチャールス・リバー社（米国）へ導入され、IGS プログラム化後、2013 年に日本チャールス・リバー（現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）に導入された。本系統は IGS プログラムにて維持されている。		

NC/NgaTndCrlj

一般名：NC

NC: Nishiki Cinnamon

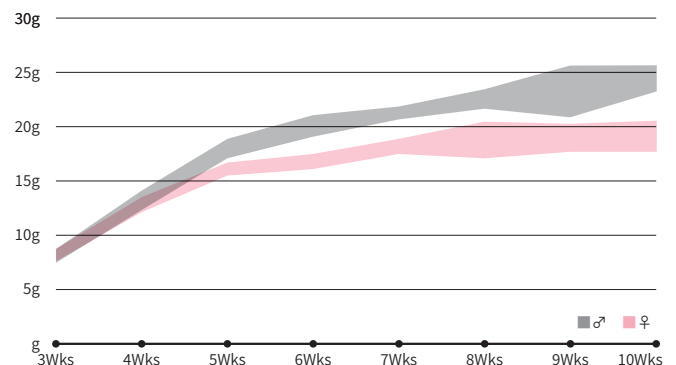


毛色	Cinnamon
規格	4 週齢～ ご購入前に繁殖やその子孫の分与をしない旨の誓約書のご提出が必要です。
由来	1957 年に名古屋大学農学部近藤教授により確立され、1997 年に東京農工大学農学部より日本チャールス・リバー（現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）へ導入された。ダニ抗原等の感作によりアトピー性皮膚炎を発症する。

SJL/J

一般名：SJL

JAX®Mice | Strain#: 000686



毛色	Albino	H2	s2
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG（♂はファイティングを起こす傾向が強いため、個別飼育をお勧めいたします。）		
由来	1955 年 James Lambert がジャクソン研究所において3つの異なる Swiss Webster マウス系統の掛け合わせにより、SJL/J を作出した。本系統はジャクソン研究所（米国）から 2010 年に日本チャールス・リバー（現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）へ導入された。		

Preconditioning Models マウス

C57BL/6J-Aged

一般名：B6J Aged

JAX®Mice | GSP 適用系統 | Strain#:000664



Preconditioning モデル

高月齢・老齢モデルマウス



毛色	Black
規格	26 ～ 104 週齢（90 週以上希望の場合は要相談）。加齢性の外観異常（脱毛、体・尾・耳の傷、目の異常等）を伴う動物も出荷対象。39 週齢以下の♀はファイティングを起こす傾向が強いため、納品輸送箱内にエンリッチメントを入れて出荷される。
由来	4 週齢の時点で出荷体重基準をクリアした C57BL/6J を加齢させている。予め加齢していることにより、ご研究に合わせた希望の週齢で提供可能。

C57BL/6J-DIO

一般名：B6J DIO

JAX®Mice | GSP 適用系統 | DIO:Diet Induced Obesity (Strain#:000664)



Preconditioning モデル

高脂肪食負荷肥満モデルマウス



毛色	Black
規格	6 週齢～（4 週齢から高脂肪食給餌） 高脂肪食を給餌しているため、外観や皮毛等に多少の光沢等が観察される。
由来	C57BL/6J マウスに Research Diets 社製の飼料 D12492（60Kcal %fat）を 4 週齢から一定期間給餌している（飼料 D12451 の給餌も可能）。

C57BL/6J-NASH

一般名：B6J NASH

JAX®Mice | GSP 適用系統 | NASH:Non-alcoholic steatohepatitis (Strain#:000664)



Preconditioning モデル

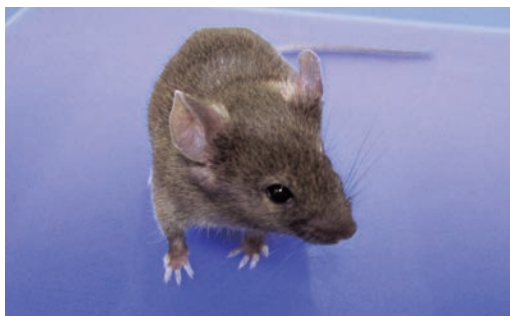
食餌誘導性 NASH モデルマウス



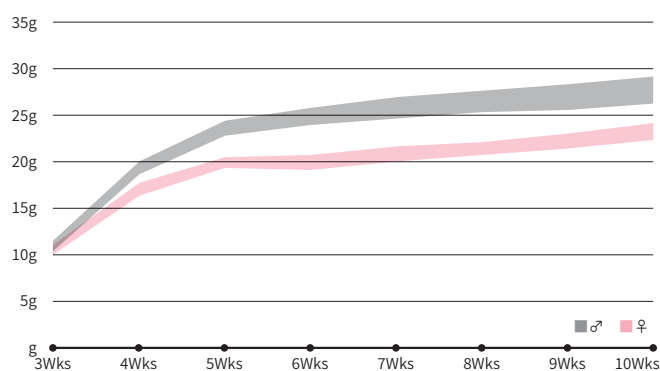
毛色	Black
規格	7 週齢～（6 週齢から NASH 作製用飼料給餌） 高脂肪食を給餌しているため、外観や皮毛等に多少の光沢等が観察される。
由来	C57BL/6J マウスに Research Diets 社製の NASH 作製用飼料 A06071302（60Kcal % fat）を 6 週齢から一定期間給餌している（A06071309（45Kcal%fat 飼料）、D09100310(N) の給餌も可能）。

B6C3F1/Crl

(C57BL/6NCrl ♀ × C3H/HeNCrl ♂)



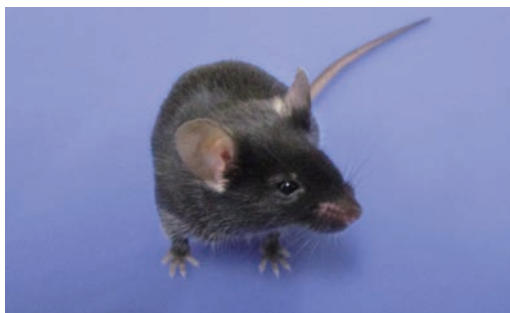
一般名：B6C3F1



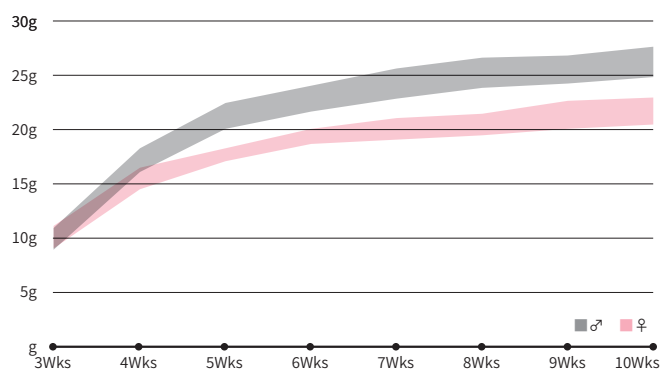
毛色	Agouti	H2	b/k	規格	3週齢～、LACT
----	--------	----	-----	----	-----------

B6D2F1/Crl

(C57BL/6NCrl ♀ × DBA/2NCrl ♂)



一般名：B6D2F1



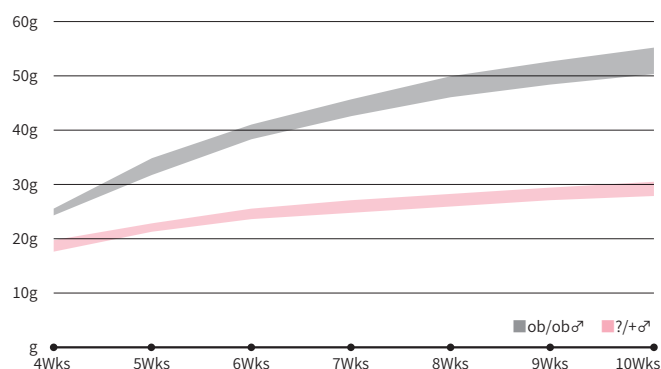
毛色	Black	H2	b/d	規格	3週齢～、LACT
----	-------	----	-----	----	-----------

Disease Models (病態モデル) マウス

B6.Cg-*Lep^{ob}* /J

JAX®Mice | Strain#:000632

一般名 : ob

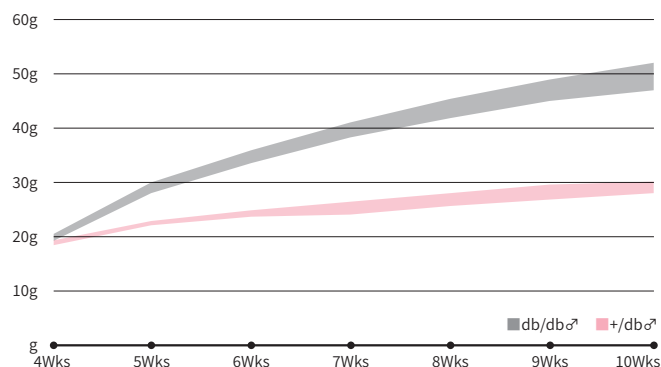


毛色	Black, obese 遺伝子型 (<i>Lep^{ob}</i> / <i>Lep^{ob}</i>) Black, lean 遺伝子型 (? / +)	H2	b
規格	5 週齢～ 温度変化や輸送ストレスに対する抵抗力が低く、衰弱・斃死する場合がある。		
由来	1949 年ジャクソン研究所の V/Le 系統のコロニーにて自然突然変異 <i>ob</i> を持つ個体が見出された。この自然突然変異 <i>ob</i> を持つマウスを C57BL/6J に 45 世代以上にわたり戻し交配を行うことで作出された。本系統はジャクソン研究所 (米国) から 2003 年に日本チャールス・リバー (現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン) へ導入された。		

BKS.Cg-*Dock7^m* +/+ *Lepr^{db}* /J

JAX®Mice | Strain#:000642

一般名 : db

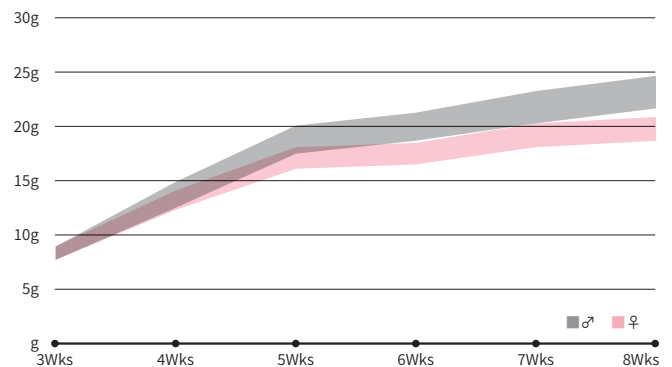


毛色	Black, obese 遺伝子型 (+ <i>Lepr^{db}</i> / + <i>Lepr^{db}</i>) Black, lean 遺伝子型 (<i>Dock7^m</i> +/+ <i>Lepr^{db}</i>) Misty (grey), lean 遺伝子型 (<i>Dock7^m</i> +/ <i>Dock7^m</i> +)	H2	d
規格	5 週齢～ 温度変化や輸送ストレスに対する抵抗力が低く、衰弱・斃死する場合がある。		
由来	1966 年ジャクソン研究所の C57BLKS/J (BKS) 系統のコロニーにて常染色体劣性自然突然変異 <i>db</i> を持つ個体が見出された。この自然突然変異 <i>db</i> を持つマウスと毛色遺伝子 <i>misty(m)</i> を持つ BKS マウスとの交配により作出された。これらの変異が存在する遺伝子座である <i>Dock</i> と <i>Lepr</i> は 4 番染色体上で互いに連鎖しているため、 <i>Dock7^m</i> アレルと <i>Lepr^{db}</i> アレルは互いに排斥しあう。本系統はジャクソン研究所 (米国) から 2003 年に日本チャールス・リバー (現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン) へ導入された。		

CAnN.Cg-Foxn1^{nu} /CrlCrlj

一般名：BALB/c-nu

免疫不全動物

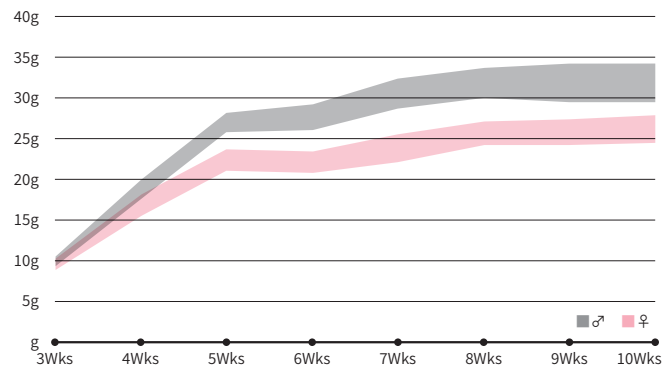


特徴	ホモ個体 (nu/nu) では胸腺が欠損し、成熟 T 細胞を産生できないために免疫不全を呈する。	H2	d
規格	♂ 4 ~ 5 週齢 ♀ 4 ~ 7 週齢 ※その他の週齢をご希望の場合は、お問い合わせください。		
由来	1981 年にチャールス・リバー社 (米国) へ導入された BALB/cABomCr-nu/nu の nu 遺伝子を BALB/cAnNCrl に導入し作出したマウスに由来し、1987 年にチャールス・リバー社 (米国) から日本チャールス・リバー (現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン) に導入された。		

Crlj:CD1-Foxn1^{nu}

一般名：ICR-nu

免疫不全動物

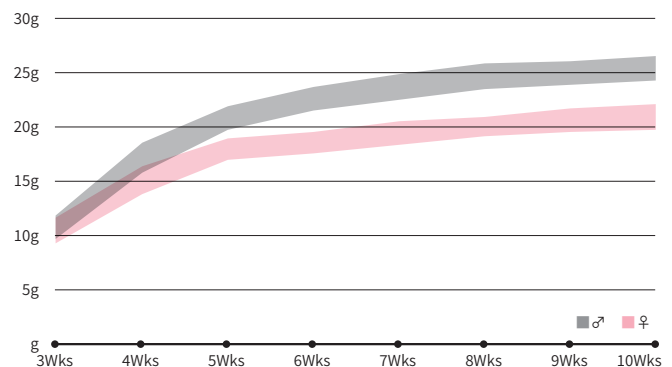


特徴	ホモ個体（nu/nu）では胸腺が欠損し、成熟 T 細胞を産生できないために免疫不全を呈する。 Outbred 系統のため、大きく丈夫（BALB/c-nu との比較）。
規格	♂ 4 ～ 5 週齢 ♀ 4 ～ 7 週齢 ※その他の週齢をご希望の場合は、お問い合わせください。
由来	チャールス・リバー社（米国）が Crl:NU- <i>Foxn1</i> ^{nu} 由来の nu 遺伝子を ICR に導入し作出したマウスに由来し、1981 年に日本チャールス・リバー（現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）に導入された。

CB17/lcr-Prkdc^{scid} /CrlCrlj

一般名：C.B-17 SCID

免疫不全動物

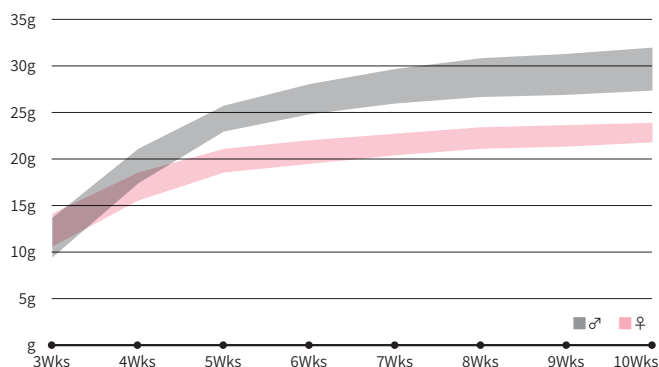


毛色	Albino	H2	d
特徴	<i>Prkdc</i> ^{scid} 突然変異遺伝子により末梢血中の B 細胞および T 細胞が機能不全を呈する。 血清中に免疫グロブリンはほとんど見出されない (一部 Leaky マウスの出現がある)。		
規格	4 ~ 8 週齢 このマウスは、Fox Chase Cancer Center との契約によりご購入前に繁殖やその子孫の分与をしない旨の誓約書のご提出が必要です。 ※その他の週齢をご希望の場合は、お問い合わせください。		
由来	常染色体劣性突然変異である <i>Prkdc</i> 遺伝子の <i>scid</i> 変異を持つ。1980 年に Fox Chase Cancer Center にて Dr. Bosma らにより C. B-17/lcr から発見された。1991 年に IFFA CREDO よりチャールス・リバー社 (米国) へ導入され、1992 年に日本チャールス・リバー (現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン) に導入された。		

Crlj:SHO-*Prkdc*^{scid}*Hr*^{hr}

一般名：SHO

免疫不全動物

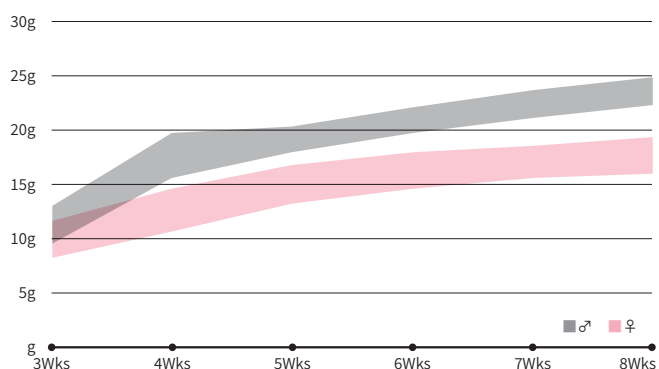


毛色	<i>Prkdc</i> ^{scid} 突然変異遺伝子により末梢血中の B 細胞および T 細胞が機能不全を呈する。Hairless のため、腫瘍細胞の移植が容易（担がんモデル作製が容易）。	規格	♂ 4～5 週齢 ♀ 4～8 週齢 ※その他の週齢をご希望の場合は、お問い合わせください。
由来	常染色体劣性突然変異である <i>Prkdc</i> 遺伝子の <i>scid</i> 変異を持つ。2007 年に Crl : HA (ICR) - <i>Prkdc</i> ^{scid} と Crl : SKH1- <i>Hr</i> ^{hr} の交配によりチャールス・リバー社（米国）で作出された。2010 年にチャールス・リバー社（米国）から日本チャールス・リバー（現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）に導入された。		

CB17.Cg-*Prkdc*^{scid}*Lyst*^{bg-J}/CrlCrlj

一般名：SCID Beige

免疫不全動物

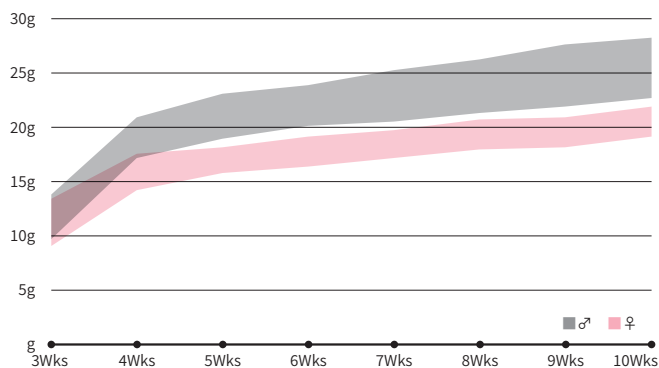


毛色	Albino	H2	d	規格	4 週齢～ ※その他の週齢をご希望の場合は、お問い合わせください。
特徴	<i>Prkdc</i> 遺伝子の <i>scid</i> 変異により末梢血中の B 細胞および T 細胞が機能不全を呈する。 <i>Lyst</i> 遺伝子の <i>beige</i> 変異により NK 細胞（ナチュラルキラー細胞）が機能不全を呈する。				
由来	常染色体劣性突然変異である <i>scid</i> (<i>Prkdc</i> 遺伝子の <i>scid</i> 変異) と <i>beige</i> (<i>Lyst</i> 遺伝子の <i>beige</i> 変異) の両遺伝子変異を持つコンジェニックマウスである。 <i>scid</i> 変異体は、B、T 両リンパ球に影響を与える重度重複免疫不全を発症する。 <i>beige</i> 変異体は、NK 細胞の機能不全を発症する。このマウスは Guelph 大学の Croy らにより、C57BL/6 bg/bg マウスと C.B-17 <i>scid/scid</i> マウスを戻し交配することで、開発された。1993 年にチャールス・リバー社（米国）に導入され、2013 年に日本チャールス・リバー（現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）に導入された。				

NOD.Cg-*Prkdc*^{scid}/J

一般名：NOD SCID

免疫不全動物 | JAX®Mice | GSP 適用系統 | Strain#:001303

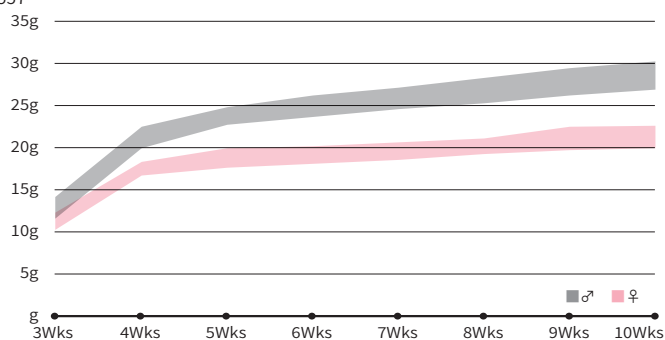


毛色	Albino	H2	g7	規格	4～8 週齢 ※その他の週齢をご希望の場合は、お問い合わせください。
特徴	末梢血中の機能的な T 細胞および B 細胞が欠失し、補体活性もなく NK 細胞活性も低いため、重度な複合免疫不全症を呈する。胸腺腫を発症する傾向があり、寿命は約 8.5 カ月。				
由来	Institute for Cancer Research in Philadelphia にて自然突然変異 <i>Prkdc</i> ^{scid} を持つ個体が BALB/c- <i>Igh</i> ^b (C.B-17) コロニーにて見いだされ、次の順で NOD/ShiLtSz 背景へと戻し交配が行われた。まず NOD/ShiLtSz メスマウスと C.B-17- <i>Prkdc</i> ^{scid} オスマウスとの交配により、 <i>Prkdc</i> ^{scid} ヘテロオスを F1/N1 として得た。これを NOD/ShiLtSz メスマウスに 10 回戻し交配をかけ、10 世代目 (N10) にて兄妹交配を行うことで <i>Prkdc</i> ^{scid} アレルをホモ化した。本系統は“GSP”にて維持されており、2006 年にジャクソン研究所（米国）から日本チャールス・リバー（現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）へ導入された。				

NOD.Cg-Prkdc^{scid}Il2rg^{tm1Wjl}/SzJ

一般名：NSG

免疫不全動物 / 遺伝子改変動物 | JAX®Mice | GSP 適用系統 | Strain#:005557

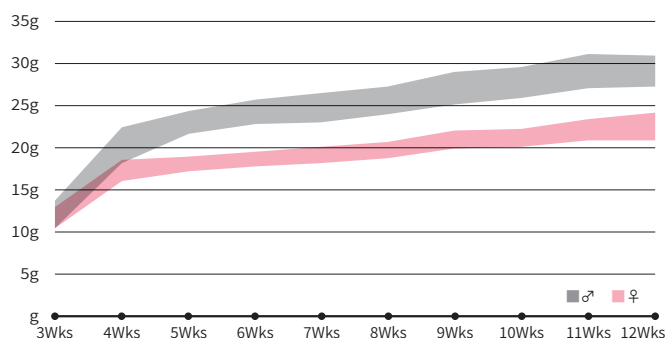


毛色	Albino	H2	g7	規格	4～8週齢 ※その他の週齢をご希望の場合は、お問い合わせください。
特徴	末梢血中の機能的な T 細胞および B 細胞が欠失し、補体活性もなく、IL-2 受容体 γ 鎖欠損、サイトカインシグナル伝達系欠損、広汎な免疫不全を呈する。胸腺腫を発症しないため、NOD SCID マウスよりも長寿命。				
由来	#001303 NOD.CB17-Prkdc ^{scid} /J メスマウスと、X 連鎖の変異アレルを持つ #003174 B6.129S4-Il2rg ^{tm1Wjl} /J オスマウスとの交配により、Prkdc ^{scid} および Il2rg ^{tm1Wjl} をそれぞれ片アレルずつ持つオスマウスを産仔として得た。これを #001303 NOD.CB17-Prkdc ^{scid} /J メスマウスに 8 世代戻し交配し、これにより作出された個体を互いに交配することにより、NOD を背景として持ち、Prkdc ^{scid} をホモ接合、Il2rg ^{tm1Wjl} をホモ (メス) もしくはヘミ (オス) 接合で持つ NSG マウスの作出に至った。本系統は "GSP" にて維持されており、ジャクソン研究所 (米国) から 2012 年に日本チャールス・リバー (現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン) へ導入された。				
注意	- 動物の搬入に際し、「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律 (カルタヘナ法)」に基づき、以下の事項が求められます。 - 弊社から遺伝子組換え生物の受け渡しに関する情報提供書を送付します。正式注文に先立ち、お客様の研究施設内におけるカルタヘナ法にもとづく機関内承認をお願いいたします。 - 正式発注前に、お客様の施設内の機関内承認手続きを得られていない場合は、動物を納品できなくなりますので、ご注意をお願いいたします。 - 営利機関および営利目的に本系統を使用する場合には、ジャクソン研究所 (米国) との "JAX Leap Fee Per Mouse Agreement" の締結が必要になります。				

NOD.Cg-Prkdc^{scid}H2-K1^{b-tm1Bpe}H2-Ab1^{g7-em1Mvw}H2-D1^{b-tm1Bpe}Il2rg^{tm1Wjl}/SzJ

一般名：NSG-MHC I/II DKO

免疫不全動物 / 遺伝子改変動物 | JAX®Mice | Strain#:025216



毛色	Albino	H2	null	規格	4～8週齢 ※その他の週齢をご希望の場合は、お問い合わせください。
特徴	マウス MHC クラス I 遺伝子 (H2-K1 および H2-D1) および MHC クラス II 遺伝子 (H2-Ab1/I-A) の欠損アレルを併せ持つ、MHC I/II ダブルノックアウト (DKO) NSG マウス。本系統ではヒト末梢血単核球 (PBMC) 移植後の移植片対宿主病 (GvHD) の発症が大幅に遅れる。そのため、本系統は PBMC 移植による免疫系ヒト化マウスの作出、および抗体医薬品やがん免疫療法等のマウス生体内での評価に有用である。				
由来	H2-K1 および H2-D1 アレル変異アレルはそれぞれバスター研究所で作出された (Perarnau <i>et al.</i> , Eur J Immunol. 1999)。これらの変異アレルは 2001 年以降ジャクソン研究所に導入された後 NSG 背景へと移され、これにより #023848 NSG-(K ^b D ^b) ^{null} マウスが作出された。この受精卵に TALEN による H2-Ab1 アレル変異を導入することにより、本系統が作出され (Brehm <i>et al.</i> , FASEB J. 2019)、ジャクソン研究所 (米国) から 2024 年にジャクソン・ラボラトリー・ジャパンへ導入された。				
注意	- 動物の搬入に際し、「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律 (カルタヘナ法)」に基づき、以下の事項が求められます。 - 弊社から遺伝子組換え生物の受け渡しに関する情報提供書を送付します。正式注文に先立ち、お客様の研究施設内におけるカルタヘナ法にもとづく機関内承認をお願いいたします。 - 正式発注前に、お客様の施設内の機関内承認手続きを得られていない場合は、動物を納品できなくなりますので、ご注意をお願いいたします。 - 営利機関および営利目的に本系統を使用する場合には、ジャクソン研究所 (米国) との "JAX Leap Fee Per Mouse Agreement" の締結が必要になります。				

Immunodeficient Models (免疫不全モデル) マウス一覧

一般名	系統名	Genetics	背景系統	被毛	T 細胞	B 細胞	NK 細胞	補体	Page
BALB/c-nu	CAnN.Cg-Foxn1 ^{nu} /CrlCrlj	Inbred	BALB/c	—	—	+	+	+	15
ICR-nu	Crlj:CD1-Foxn1 ^{nu}	Outbred	ICR	—	—	+	+	+	15
C.B-17 SCID	CB17/Icr-Prkdc ^{scid} /CrlCrlj	Inbred	CB17	+	—	—	+	+	15
SHO	Crlj:SHO-Prkdc ^{scid} Hi ^{hr}	Outbred	Mixed Stock	—	—	—	+	+	16
SCID Beige	CB17.Cg-Prkdc ^{scid} Lyst ^{bg-J} /CrlCrlj	Inbred	CB17	+	—	—	Impaired	+	16
NOD SCID	NOD.Cg-Prkdc ^{scid} /J	Inbred	NOD	+	—	—	Impaired	—	16
NSG	NOD.Cg-Prkdc ^{scid} Il2rg ^{tm1Wjl} /SzJ	Inbred	NOD	+	—	—	—	—	17
NSG-MHC I/II DKO	NOD.Cg-Prkdc ^{scid} H2-K1 ^{b-tm1Bpe} H2-Ab1 ^{g7-em1Mvw} H2-D1 ^{b-tm1Bpe} Il2rg ^{tm1Wjl} /SzJ	Inbred	NOD	+	—	—	—	—	17

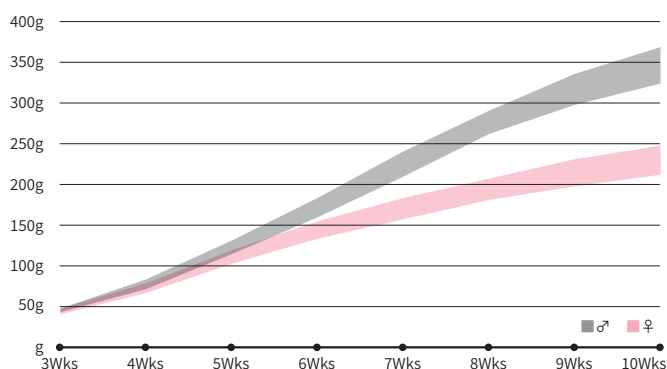
Outbred ラット

Crl:CD(SD)

IGS 適用系統 | CD:Caesarean Derived



一般名：CD(SD)

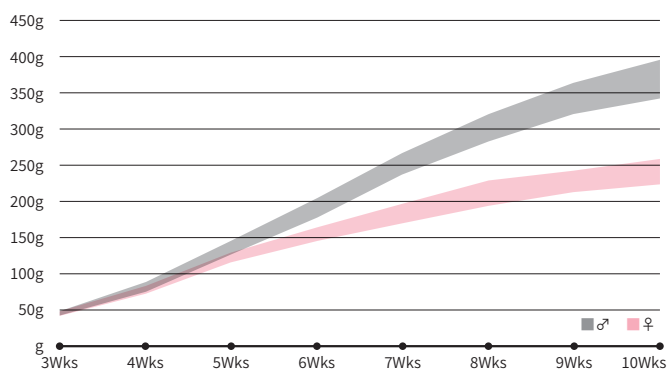


毛色	Albino
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、T、PREG、LACT
由来	1950 年に Sprague Dawley, Inc. からチャールス・リバー社（米国）に導入され、1991 年に世界各国のチャールス・リバー生産施設の従来 CD（SD）コロニーから選抜された親だねをもとに、IGS Foundation コロニーが構築された。1994 年に日本チャールス・リバー（現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）へ導入された。本系統は IGS プログラムにて維持されている。

Crlj:WI



一般名：Wistar

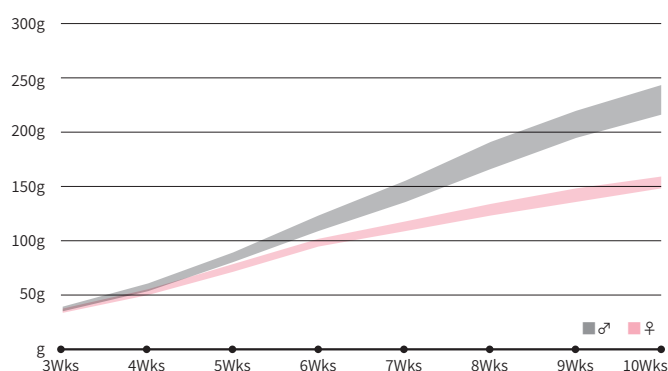


毛色	Albino
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、T、PREG、LACT
由来	1947 年に Wistar Institute より Scientific Products Farm, Ltd（チャールス・リバー社（米国）の前身）へ導入され、1975 年にチャールス・リバー社（米国）に移された。1981 年にノトバイオートの親だね群が日本チャールス・リバー（現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）へ導入された。

BN/CrlCrlj

一般名：BN

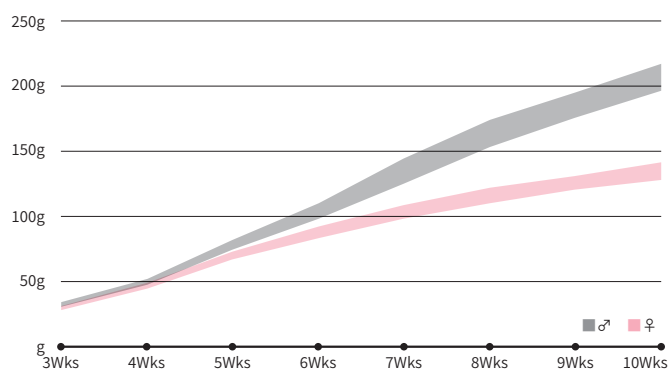
BN: Brown Norway



毛色	Non-agouti brown	RT1	n
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、T、PREG、LACT		
由来	1976 年に Radiobiology Institute (オランダ) よりチャールス・リバー社 (米国) へ導入され、1990 年に日本チャールス・リバー (現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン) へ導入された。		

F344/DuCrlCrlj

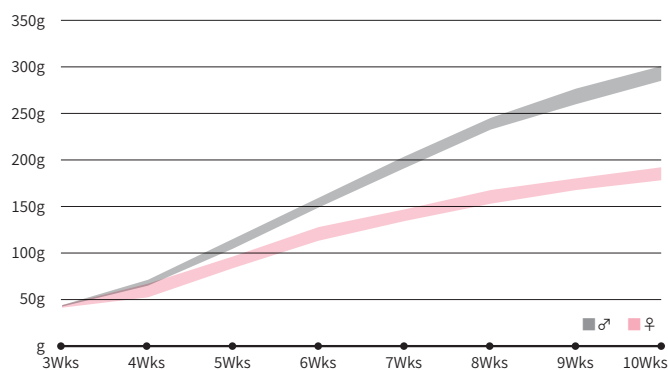
一般名：F344



毛色	Albino	RT1	ℓ
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、T、PREG、LACT		
由来	1920 年 Curtis より Dunning へ導入し、1960 年に F68 でチャールス・リバー社 (米国) へ導入され、1965 年に F81 で SPF 化を行い、1976 年 F110 で日本チャールス・リバー (現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン) へ導入された。		

LEW/CrlCrlj

一般名：LEW

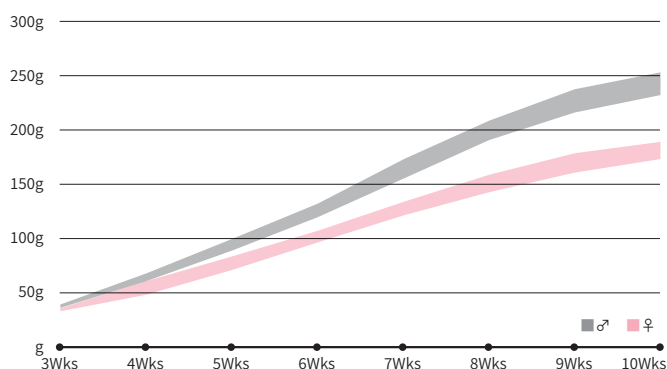


毛色	Albino	RT1	ℓ
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、T、PREG、LACT		
由来	1950 年代初期に Dr. Lewis により開発された。1970 年に F34 で Tulane University よりチャールス・リバー社 (米国) へ導入され、SPF 化後、1981 年に F49 で日本チャールス・リバー (現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン) へ導入された。		

WKY/NCrCrIj

一般名：WKY

WKY: Wister Kyoto



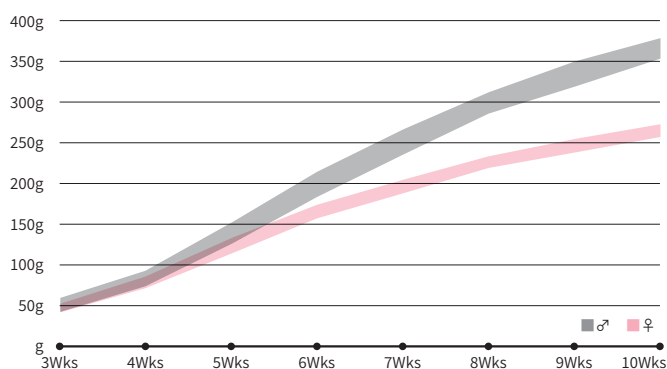
毛色	Albino	RT1	ℓ
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、T、PREG、LACT		
由来	京都大学で維持されていた Outbred Wistar に由来する。1971 年 NIH にて兄妹交配を開始し、1974 年に F11 でチャールス・リバー社（米国）で SPF 化後、1981 年に F25 で日本チャールス・リバー（現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）に導入された。		

Disease Models (病態モデル) ラット

PCK/CrljCrl-Pkhd1^{pck}/CrlCrlj

一般名：PCK

PCK: Polycystic Kidney



毛色	Albino
規格	4 週齢～
由来	腎に多発性嚢胞が生じる。日本チャールス・リバー（現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）の CD ラット生産コロニーから発見された。その後 2000 年に藤田医科大学にて <i>Pkhd1</i> 遺伝子の <i>pck</i> 変異が同定された。この常染色体劣性遺伝子は、ヒトの常染色体劣性多発性嚢胞腎症（ARPKD）に関連する。2006 年にチャールス・リバー社（米国）に導入され、2013 年に日本チャールス・リバー（現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）に導入された。

その他商材

手術動物（カニュレーション動物の作製 / 外科的処置によるモデル動物の作製、マウス / ラット）

安全性試験、薬物動態試験向けのカニュレーション動物作製

Jugular Vein Cannulation

頸静脈カニュレーション

右総頸静脈からカテーテルを留置。採血用として使用。7 ～ 20 日間程度の採血が可能。

※カテーテルの設計、試験条件等により使用期間が変わります。

Portal Vein Cannulation

門脈カニュレーション

門脈に対し垂直にカテーテルを留置。腸管吸収・肝臓への投与経路として使用され、20 日間程度の採血が可能。

Bile Duct Cannulation

胆管カニュレーション

肝臓側の胆管に挿入したカテーテルを体外に露出し、胆汁排泄をせず、カテーテル先端を十二指腸側の胆管に戻す胆管バイパス手術を実施。無麻酔下での胆汁排泄試験、十二指腸への胆汁・薬剤投与が可能。

Femoral Vein and Artery Cannulation

大腿静脈・動脈カニュレーション

股部大腿動静脈より、カテーテルを挿入し、カテーテル先端は腎動静脈付近に位置するように留置。静脈は薬剤の投与経路（反復投与試験等）、動脈は採血および観血式血圧測定等に使用。

※試験用途、試験期間により使用期間が変わります。

Double Cannulation

ダブルカニュレーション

- 頸静脈 + 門脈カニュレーション ● 頸静脈 + 胆管カニュレーション
- 頸静脈 + 大腿静脈カニュレーション ● 側脳室 + 大腿静脈カニュレーション
- 胆管 + 大腿静脈カニュレーション、他

その他 特殊投与用等のカニュレーション動物作製

Lateral /3rd Ventricular Cannulation

側脳室・第三脳室カニュレーション

脳定位固定装置に動物を固定し、頭蓋骨の Bregma を基点に、座標に従いガイドの挿入位置を決定。アンカービス、歯科用セメント等にてガイドを固定。中枢への薬物投与、Micro dialysis にも使用が可能。

Intrathecal Cannulation

髄腔内カニュレーション

脳定位固定装置に固定し、後頭骨と第一頸椎間より髄膜を穿孔し、カテーテルを髄腔内へ留置。

Gastric /Duodenum Cannulation

胃・十二指腸カニュレーション

腹部切開後、胃（噴門部・幽門部）にカテーテル挿管部を切開し、巾着縫合によりカテーテルを挿管固定。

Colon Cannulation

大腸カニュレーション

腹部切開後、盲腸結腸側にカテーテル挿管部を切開し、巾着縫合によりカテーテルを挿管固定。

Bladder Cannulation

膀胱カニュレーション

膀胱にカテーテルを挿入し、巾着縫合によりカテーテルを固定。膀胱内圧試験に使用。

その他 外科的処置によるモデル動物の作製

下垂体摘出・甲状腺副甲状腺摘出・副腎摘出・5/6 腎臓摘出・卵巣摘出・精巣摘出・精管切除・半月板摘出

生体試料（血液 / 臓器 / 各種生体試料等）

国内生産実験動物（マウス / ラット）から採取した生体試料に加えて、ウサギ / ビーグル / サルの生体試料も注文することができます。動物実験の承認手続きから採材、試験までの作業を省略でき、時間、労力、飼育スペース、使用動物数の削減にもつながります。

血液試料

血漿・血清・全血・IC 血清

ご希望の部位からの採血が可能です。
静脈、動脈、心臓

抗凝固剤

ご希望の抗凝固剤を指定していただけます。
ヘパリン Na、ヘパリン Li、EDTA-2Na、EDTA-2K、EDTA-3K、
3.8% クエン酸 Na 等

臓器・組織

脳、肝臓、腎臓、眼球、皮膚、 被毛、尿、糞、骨格、筋肉、 脳脊髄液 等

ご希望の臓器・組織の採取が可能です。

試料採取後の処置

ご希望の処置等 ご相談を承ります。
灌流、ホモジナイズ 等

ブタ皮膚（Yucatan Micro Pig Skin set） ユカタン マイクロピッグ スキンセット

米国シンクレア社（Sinclair Bio Resources, LCC）より Yucatan Micro Pig Skin set を輸入し販売しています。Yucatan Micro Pig はヒト皮膚組織構造に近く体毛が少ないことから、医薬品の製剤研究や化学品の皮膚科学研究等に広く使用されています。

摘出皮膚・仕様

品 名	Yucatan Micro Pig Skin set
品 質	家畜法定伝染病の感染の無い健康な個体から採取
月 齢	5か月齢
サ イ ズ	1枚あたり約10cm×10cm (採取時)
内 容	表皮・真皮・皮下脂肪
数 量	1頭 (16枚) もしくは1/2頭 (8枚、右または左半身)
保 存	-80℃、ドライアイス包装および冷凍庫

系統別出荷体重基準表

マウス

(単位：g)

系統名	性別	3 週齢	4 週齢	5 週齢	6 週齢	7 週齢	8 週齢	9 週齢	10 週齢
Crl:CD1(ICR) (ICR) (Outbred Mice)	オス	8-15	15-25	23-33	25-37	26-39	28-41	—	—
	出荷体重幅(オス)	4	4	5	6	7	8		
	メス	7-14	14-23	19-28	20-29	21-32	23-34	—	—
	出荷体重幅(メス)	4	4	5	5	5	6	—	—
注) B6N-Tyr ^{c-Brd} /BrdCrCrl (B6 Albino) (Inbred Mice)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
	メス	—	—	—	—	—	—	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
BALB/cByJ (BALB/cByJ) (Inbred Mice)	オス	8-13	11-16	15-20	17-22	18-23	20-25	—	—
	メス	8-13	10-15	12-17	14-19	15-20	16-21	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
BALB/cJ (BALB/cJ) (Inbred Mice)	オス	8-13	13-18	17-22	18-23	19-24	20-25	—	—
	メス	8-13	11-16	13-18	14-19	15-20	16-21	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
C3H/HeNCrI (C3H) (Inbred Mice)	オス	8-13	13-18	17-22	18-23	19-24	20-25	—	—
	メス	8-13	12-17	15-20	16-21	17-22	18-23	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
C57BL/6J (B6J) (Inbred Mice)	オス	7-14	11-18	16-23	18-25	20-27	21-28	—	—
	メス	7-14	10-17	13-20	14-21	15-22	16-23	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
C57BL/6NJ (B6NJ) (Inbred Mice)	オス	8-13	13-18	17-22	19-24	20-25	21-26	—	—
	メス	7-12	11-16	14-19	15-20	16-21	17-22	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
CBA/J (CBA/J) (Inbred Mice)	オス	9-14	14-19	19-24	21-26	22-27	24-29	—	—
	メス	9-14	14-19	16-21	17-22	18-23	19-24	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
DBA/1JNCrIj (DBA/1) (Inbred Mice)	オス	7-12	9-14	12-17	15-20	16-21	18-23	—	—
	メス	6-11	8-13	10-15	12-17	13-18	14-19	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
DBA/2NCrI (DBA/2) (Inbred Mice)	オス	7-12	10-15	14-19	15-20	17-22	18-23	—	—
	メス	7-12	10-15	12-17	13-18	14-19	15-20	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注) NC/NgaTndCrIj (NC) (Inbred Mice)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
	メス	—	—	—	—	—	—	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
SJL/J (SJL) (Inbred Mice)	オス	6-13	11-18	15-22	16-23	17-24	18-25	—	—
	メス	5-12	10-17	13-20	14-21	15-22	15-22	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注) C57BL/6J-DIO (B6J DIO) (Preconditional Mice)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
	メス	—	—	—	—	—	—	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—

注)：体重のご指定を承ることができかねます。また、ラベルに体重は表示されません。

マウス

(単位：g)

	系統名	性別	3 週齢	4 週齢	5 週齢	6 週齢	7 週齢	8 週齢	9 週齢	10 週齢
注)	C57BL/6J-NASH (B6J NASH) (Preconditional Mice)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
		メス	—	—	—	—	—	—	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
	B6C3F1/Crl (B6C3F1) (Hybrid Mice)	オス	9-15	14-21	17-25	19-26	20-27	22-29	—	—
		メス	9-15	13-20	15-22	16-23	17-24	18-25	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
	B6D2F1/Crl (BDF1) (Hybrid Mice)	オス	8-13	14-19	19-24	20-25	22-27	23-28	—	—
		メス	8-13	13-18	15-20	16-21	17-22	18-23	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注)	B6.Cg- <i>Lep^{ob}</i> /J (ob) (Disease Models Rats)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
		メス	—	—	—	—	—	—	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注)	BKS.Cg- <i>Dock7^m</i> +/ <i>Lepr^{db}</i> /J (db) (Disease Models Rats)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
		メス	—	—	—	—	—	—	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
	Crlj:CD1- <i>Foxn1^{nu}</i> (ICR-nu) (Immunodeficient Mice)	オス	7-12	18-25	22-30	24-31	24-33	24-35	—	—
		メス	7-12	14-22	18-25	20-26	20-28	20-30	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
	CAnN.Cg- <i>Foxn1^{nu}</i> /CrlCrlj (BALB/c-nu) (Immunodeficient Mice)	オス	7-14	11-18	15-22	16-23	18-25	18-25	—	—
		メス	7-14	9-17	11-19	14-22	15-23	16-24	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注)	CB17/Icr- <i>Prkdc^{scid}</i> /CrlCrlj (C.B-17 SCID) (Immunodeficient Mice)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
		メス	—	—	—	—	—	—	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注)	Crlj:SHO- <i>Prkdc^{scid}</i> <i>Hr^{hr}</i> (SHO) (Immunodeficient Mice)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
		メス	—	—	—	—	—	—	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注)	CB17.Cg- <i>Prkdc^{scid}</i> <i>Lyst^{bg-J}</i> /CrlCrlj (SCID Beige) (Immunodeficient Mice)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
		メス	—	—	—	—	—	—	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注)	NOD.Cg- <i>Prkdc^{scid}</i> /J (NOD SCID) (Immunodeficient Mice)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
		メス	—	—	—	—	—	—	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注)	NOD.Cg- <i>Prkdc^{scid}</i> <i>Il2rg^{tm1Wjl}</i> /SzJ (NSG) (Immunodeficient Mice)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
		メス	—	—	—	—	—	—	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注)	NOD.Cg- <i>Prkdc^{scid}</i> <i>H2-K1^{b-tm1Bpe}</i> <i>H2-Ab1^{g7-em1Mvw}</i> <i>H2-D1^{b-tm1Bpe}</i> <i>Il2rg^{tm1Wjl}</i> /SzJ (NSG-MHCI/II DKO) (Immunodeficient Mice)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
		メス	—	—	—	—	—	—	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—

注)：体重のご指定を承ることができかねます。また、ラベルに体重は表示されません。

ラット

(単位：g)

系統名	性別	3 週齢	4 週齢	5 週齢	6 週齢	7 週齢	8 週齢	9 週齢	10 週齢
Crl:CD(SD) (CD(SD)) (Outbred Rats)	オス	35-55	50-110	100-160	140-220	190-270	240-330	270-360	310-390
	メス	35-55	50-110	80-130	120-190	140-210	160-230	180-240	200-260
	出荷体重幅	10	10	20	20	30	30	40	50
Crlj:WI (Wistar) (Outbred Rats)	オス	35-55	60-100	100-160	150-220	200-280	250-340	290-380	310-410
	メス	35-55	60-100	90-140	130-180	155-205	170-240	180-250	200-270
	出荷体重幅	10	10	20	20	30	30	40	50
BN/CrJCrJ (BN) (Inbred Rats)	オス	30-55	45-80	70-110	95-140	125-175	155-205	180-240	200-270
	メス	25-50	40-70	65-95	85-115	100-140	115-160	125-170	130-180
	出荷体重幅	10	10	20	20	30	30	40	50
F344/DuCrJCrJ (F344) (Inbred Rats)	オス	25-45	35-75	65-110	95-140	125-175	150-210	180-240	195-255
	メス	20-40	35-70	60-100	80-120	95-135	110-150	115-155	120-170
	出荷体重幅	10	10	20	20	30	30	40	50
LEW/CrJCrJ (LEW) (Inbred Rats)	オス	30-50	50-90	90-140	130-180	160-220	190-260	200-290	210-310
	メス	30-50	50-80	80-120	110-150	130-160	140-180	150-190	160-210
	出荷体重幅	10	10	20	20	30	30	40	50
注) WKY/NCrJCrJ (WKY) (Inbred Rats)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
	メス	—	—	—	—	—	—	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注) PCK/CrJCrJ- <i>Pkhd1</i> ^{pck} /CrJCrJ (PCK) (Disease Models Rats)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
	メス	—	—	—	—	—	—	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—

注)：体重のご指定を承ることができかねます。また、ラベルに体重は表示されません。

製品／サービスのご利用にあたって

弊社の製品／サービスのご利用にあたってはジャクソン研究所（米国）および
チャールス・リバー社（米国）の取引条件が適用されます。

各販売条件は以下の URL より
WEB サイトでご確認ください

ジャクソン研究所（米国）

一般条件（GENERAL TERMS AND CONDITIONS）：

<https://www.jax.org/about-us/legal-information/terms-and-conditions-of-product-use>

チャールス・リバー社（米国）

一般販売条件（General Terms & Conditions of Sale）：

<https://www.criver.com/general-terms-conditions-sale>

販売代理店

オリエンタル酵母工業株式会社

ご注文

RS 物流センター
TEL：043-301-2201
FAX：043-244-6234
E-mail：oyc-tbo@nisshin.com

お問い合わせ

東日本バイオ営業部
TEL：03-3968-1163
FAX：03-3968-1196
E-mail：ejb-sales@nisshin.com

お問い合わせ

西日本バイオ営業部
TEL：06-6338-1095
FAX：06-6384-7692
E-mail：bioosaka@nisshin.com

株式会社オリエンタルバイオサービス

お問い合わせ・ご注文

TEL：075-322-1177
FAX：075-322-0232
E-mail：obskyoto@nisshin.com

株式会社ケービーティーオリエンタル

お問い合わせ・ご注文

TEL：0942-81-2400
FAX：0942-81-2401
E-mail：kbto-01@nisshin.com

Scientific Support

弊社サイエンティフィックサポート部門では、マウス遺伝学やマウスモデルに関する専門知識を持つ科学者 (Technical information scientist) が お客様のニーズに合わせた情報や技術的なサポートを提供いたします。モデルマウスに関するご質問やご相談、国内外で提供しております受託試験や実験リソースについての技術的なお問い合わせは、micetech@jax.or.jpまでご連絡ください。



サポート事例:

◇ マウスモデルに関する知識サポート

マウスモデルに関する科学的なご質問への回答や、技術的な課題に対する解決策の提案をさせていただきます。また、皆さまの研究目的・実験に合わせた最適なマウスモデルを選ぶお手伝いをいたします。

◇ 実験サービスに関する技術的なお問い合わせ対応

ヒト化マウスや PDXモデルをはじめとした、国内外から提供する実験サービスや受託試験に関する技術的なご相談やお問い合わせに対応いたします。

◇ データベースの活用方法のご案内

マウスモデルのデータベースやオンラインリソースの活用方法について、分かりやすくご案内します。これにより、効率的なデータ検索や情報の活用をサポートいたします。

JAX™ Mice Database

Mouse Genome Informatics

Mouse Phenome Database

WELCOME TO JAX MOUSE SEARCH

<https://mice.jax.org/>

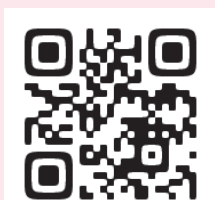


JAXでは世界中から寄託されたマウスリソースを
皆さまに提供しております。

JAX Mouse Searchでは、系統名や変異遺伝子名による
絞り込み検索が可能で、
系統情報に加えて先行研究もご覧いただけます。
ぜひ、気になるマウスを探してみてください。

メールニュースのご案内

JAX IN JAPAN NEWS AND INSIGHTS



ジャクソン・ラボラトリー・ジャパンの
最新情報をお届けするメールニュースは
こちらからご登録いただけます。

